

北大脳神経外科 イブニングセミナー 特別講演

「小児脳腫瘍におけるエピゲノム異常～標的治療への知見」

橋詰 倫太郎 先生

Rintaro Hashizume, MD, PhD.

Associate Professor, Department of Pediatrics,
University of Alabama at Birmingham, USA



橋詰倫太郎先生はMDアンダーソン、カリフォルニア大学サンフランシスコ校、ノースウエスタン大学などで研究活動を行った後、2023年からアラバマ大学バーミングハム校でAssociate professorとして小児脳腫瘍の研究で多くの論文を発表されています。小児の脳幹部神経膠腫における重要な遺伝子異常としてヒストンH3タンパクをコードする遺伝子のH3K27M変異が発見され、本疾患における発生メカニズムや治療法の研究が盛んに行われるようになり、ヒストンのメチル化やアセチル化などのエピゲノム異常を標的とした治療法の研究が加速されました。現在までに、Histone H3 Demethylase阻害薬(GSKJ4)、BRD4阻害薬、HDAC阻害薬、EZH2阻害薬などエピゲノム異常を標的とした様々な治療薬による治療法が報告され、一部はすでに臨床試験の段階に進んでいます。今回はこれらの治療薬のメカニズムなどを中心に、小児脳腫瘍における最近の研究成果をお話していただきます。

2023年12月12日（火） 17:00～18:00

北海道大学医学部 百年記念館 2階 多目的ホール

どなたでもお気軽にご参加ください！

お問い合わせ先：ishi-y@huhp.hokudai.ac.jp（伊師） 内線5987（脳神経外科医局）